

平成 28 年 7 月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

平成 28 年(2016 年)7 月 26 日(火) 午後4時から午後4時 50 分まで

2 場 所

明神館 会議室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

議案第7号 就学援助費支給の認定について

(2)報告

ア 教育課

(ア) 来入児の就学相談について

(イ) いじめ、不登校の状況等について

(ウ) 中体連東信大会・県大会の結果について

(エ) 学校主催人権同和教育懇談会の実績について

(オ)秋田県湯沢市議会教育民生常任委員会視察対応について(ネットリテラシー教育の推進について)

(カ)ポケモンGOに関する注意喚起について

(キ)ジュニア野外体験学校の実績報告について

イ 生涯学習課

(ア) 中学生オーストラリアホームステイについて

(イ) マドラス市訪問団について

ウ その他

4 出席者

○教育長 牛山 廣司

○委員

教育長職務代理者 下村 征子

委員 小林 経明

委員 小林 利佳

委員 直井 良一

○その他

清水教育次長、小林教育課長、勝山生涯学習課長

武田学校教育係長、柳橋青少年教育係長

小山指導主事、畑田指導主事

会議録

清水教育次長

ただいまから、7月定例教育委員会を始めます。教育長からごあいさつをお願いいたします。

牛山教育長

今日26日、終業式を迎えた学校がいくつかあります。一学期の成果を子ども達は持ち帰ります。きっと家でほめていただけるものと期待をしたいと思います。

いくつかの成果がこの一学期に学校教育中心にあったと思われます。

夏休み、怪我の無いように送れる事を願っております。児童は夏休みを明けると成長して戻ってくるので、期待をしたいと思います。

清水教育次長

ありがとうございました。それでは議題につきまして、教育長の進行をお願いいたします。

牛山教育長

はい。それでは議題(1)協議(審議・検討)に入ります。

議案第7号 就学援助費支給の認定について<非公開>

個人情報の関係もありますので非公開とします。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

牛山教育長

それでは、非公開とします。

次に(2)報告 ア教育課 (ア)来入児の就学相談についてお願いします。

畑田指導主事

28日から5日間、各保育園から出された総勢22名のお子さんについて相談を行います。教育委員会から私と臨床心理士が出席、各小学校からは特別支援コーディネーターの先生等職員が出席し、相談を受けます。その中で特別な配慮が必要となった場合は教育支援委員会へ諮ります。22名のほかに保育園、幼稚園に通園していない子どもが数名います。その内の一人は、重い障害を持ち、養護学校を希望されています。来月教育相談をもう一度する予定です。そのほか、人の関わりが困難で、人間関係を築くのに時間がかかり、専門の先生でないと対応が難しく、大勢の人の前に出たり、不意に予想外の事が起こるとパニックになり、また、体温調整が十分に出来

ないことから配慮が必要な子どもがいます。通学可能な市内小学校を選定中と共に上田養護学校へも教育相談を受けるよう勧めております。以上、ご報告いたします。

牛山教育長

これら児童の就学については、就学指導、教育支援委員会の今後の結果を受けてからということになります。

次に(イ)いじめ、不登校の状況等についてお願いします。

小山指導主事

平成 28 年度不登校数月別推移(6月)

不登校児童生徒の状況

いじめ・いじめと思われる把握件数 集計表(6月)について説明します。資料説明。

直井委員

先日、全国で「いじめを経験したことがある」という子どもが 80 何パーセントと出ていましたが、まったく数字に出てこない方が、逆に先生が良く見ていないのではないかとわれてしまいます。数字に出ている方が逆に先生方が良く見ているのではないかと安心感があつたりします。先生や校長先生で対処しているかもしれませんが、数字に出ていなかったり、隠されている方が問題と思います。

小山指導主事

校長会でも行政の研修があり、その資料を基に各学校へおろしなさいと指示があり資料をお渡ししました。

今、お話がありましたように、ゼロという数字でカウントされている事の方が、むしろおかしいと受け止めてもらっていいと、いじめ防止対策推進法にのっとり、対応しなさいと指導しました。

学校ごとに作っていただいております、いじめ防止対策のための基本方針に沿って校内のいじめ対策委員会が機能するように対応していく事を確認しました。普段の学級指導、学年の先生の連携の中で情報の収集、早い対応が必要ということ、子ども達の心を育てる教育活動が重要かと考えております。今後、校長先生方と連携しながら大切に扱っていかねばいけないと感じております。

牛山教育長

(ウ)中体連東信大会・県大会の結果についてお願いします。

武田学校教育係長

東信大会の結果は先月報告済みです。平成 28 年度 県大会の結果について

今後の北信越大会、全国大会予定について報告します。

資料説明。

ほかに野球部が中部日本地区選抜野球大会県大会で優勝し名古屋ドームで試合をします。

牛山教育長

(エ)学校主催人権同和教育懇談会の実績についてお願いします。

小林教育課長

平成 28 年度 学校主催の人権同和教育懇談会開催日程・実績について説明します。

資料説明。

牛山教育長

(オ)秋田県湯沢市議会教育民生常任委員会視察対応について(ネットリテラシー教育の推進について)お願いします。

柳橋青少年教育係長

秋田県湯沢市議会教育民生常任委員会の6名の皆さんが来庁され、当市のネットリテラシー教育について説明を行いました。内容は、青少年健全条例の制定をはじめ、平成 21 年から 27 年までの推進状況について説明をしました。その他の啓発資料として、「ネットリテラシー通信」「学年通信のポイント」「市報とうみ」等を渡しました。

インターネット、スマホの使い方の意見や当市の推進体制に対するお褒めの言葉等が出され、積極的な情報交換ができました。

牛山教育長

湯沢市がこの東御市を選んだ理由は为什么呢。

清水教育次長

湯沢市ではまったく取り組みがなされていないようです。調べた結果、長野県の東御市で取り組んでいるということで視察に見えました。

牛山教育長

(カ)ポケモンGOに関する注意喚起についてお願いします。

柳橋青少年教育係長

内閣サイバーセキュリティセンターから「ポケモンレーナーのみんなにおねがい」について説明します。7 月 22 日(金)には市内小中学校へ注意喚起の文書を通知しました。

清水教育次長

社会現象やトラブルになるようなゲームで、まだまだこれから広がると思いますので学校を通じて子ども達向けに文書を出し、注意喚起をしたという報告です。

小林経明委員

情報は正確に、情報は正しくない、特にネットの関係は、情報はどんどん先に行きますので注意が必要です。今の小学校の父兄の世代は初めからネットの世代なのでとても詳しいです。適切な対応を望みます。

牛山教育長

(キ)ジュニア野外体験学校の実績報告についてお願いします。

柳橋青少年教育係長

(キ)ジュニア野外体験学校の実績報告について報告します。

5月21日 学習会

6月 5日 下見

6月11日 日帰りキャンプ

7月16～17日 宿泊キャンプ 須坂青年の家キャンプ場

参加人数

小学生38名、引率者36名、事務局5名、中学生ボランティア2名、東御清翔高校ボランティア4名、社会人(東御清翔高校卒業)2名、長野大学ボランティア1名 合計88名

来年からは湯の丸キャンプ場での開催となります。

牛山教育長

次にイ 生涯学習課 (ア)中学生オーストラリアホームステイについて (イ)マドラス市訪問団について、続けてお願いします。

勝山生涯学習課長

平成28年度 東御市中学生オーストラリアホームステイ事業について説明します。

平成14年より実施、今年で14回目

期間 7月29日(金)から8日8日(月)

行先 オーストラリア・シドニー

参加者 東部中学校生4名(男子1名、女子3名) 北御牧中学校生1名(女子1名)

続いて、姉妹都市マドラス市訪問団について説明します。高校生が中心で来訪するのは初めてです。

日程6月17日(金)から6月23日(木)東御市滞在期間 6月26日帰国

参加者 男性2名 女性2名 引率者市職員1名

清水教育次長

補足させていただきます。急な決定で友好協会にお世話をいただきまして、日本での初体験をしていただきました。22日は和小学校、東部中学校へ訪問し小中学生との交流ができました。

牛山教育長

マドラスからは初めての訪問となりました、次に ウ その他についてお願いします。

直井委員

参議院選挙における東御市の18歳、19歳の参加率について教えてください。

小林経明委員

後日調べて報告してください。

清水教育次長

全国的にも同様の傾向のようですが、選挙前には8割以上の子ども達の関心があるとのアンケート結果でしたが、実際の投票率は半分くらいでした。今回、2歳繰り下げて選挙人を増やしましたが、今回効果は出ていないようです。或いは、啓発する教育が不十分であったと思われる。これからの課題が大きく見えてきたと思います。子どもの投票行動の教育については、県の高等学校においては休み前に指導がなされたということで、今後続いていきますが、義務教育の段階におきましても国政だけでなく、これから市議会議員選挙という身近な選挙もありますので、小中学校の頃からそのような意識を待つような教育を教育計画の中に盛り込む必要があると思います。

地域活動から始めて社会の中に自分が生きているという、社会人として育っていくという視点、視野を学習に位置づけて対応していく必要があると思います。

小林利佳委員

娘が初めての選挙となりました。学校では選挙に関する指導はありませんでした。家庭で指導しなければいけないと感じ、新聞等をとって置いて見せたりしました。初めての投票で、ひとりで行くことは躊躇してしまうことから、親と一緒に行く、または誘って連れて行く事も必要だと思えます。家庭でもそのような事を気にかけていけるようにしなければいけないと感じます。

子ども達のなかでは、80パーセント選挙に行く気持ちがあったと思います。しかし、実際当日になつたらどのようにしたら良いか分からず行けなかった方もいるのではないかと思います。

東御市でも11月には大事な選挙がありますので、考えていけたら良いと思います。

牛山教育長

今回の会議で18歳、19歳の投票率の報告をお願いします。

教育委員会では、夏休みに開催される講座において対応するようになっています。

勝山生涯学習課長

公民館の講座の中に、公開子ども夏期講座「未来を語ろう」として小中学生によるワークショップを予定しています。

牛山教育長

本日の議題は以上です。7月定例教育委員会を閉じさせていただきます。